

新潟大学 外国語学習支援スペース FL-SALC 平成 26 年度第 2 学期活動報告

<英語>

FL-SALC では英語の自主学習を支援する諸活動への参加者が順調に増加している。本学期の主な改善点は、英語チューターと 1 対 1 の「予約制ビギナーズ・チャット」を新設したことである。英語で話すことに慣れていない学生にとってグループで行うチャット（自由会話）は「ビギナーズ・チャット」であっても敷居が高く、参加しても話す機会を逸しがちであるという意見や相談が数件あったことから、周りを気にせずに留学生と英語を話すことができる環境を提供したところ、スピーキングが苦手な学生の間で好評であった。（なお、英語関連ではないが、今学期から外国語チャットにロシア語チャットが加わったことも記しておきたい。）本稿では、まず第 2 学期の活動参加者数を報告し、つぎに FL-SALC の活動のうち最も利用者が多い「英語チャット」について、参加者（主に日本人学生）および英語チューター（世界各地からの留学生）を対象に実施したアンケート調査の結果を報告する。参加者へのアンケート調査からは、英語チャットに参加することが英語の自律的な学習習慣の形成に寄与しうることがわかった。

I. 活動参加者数

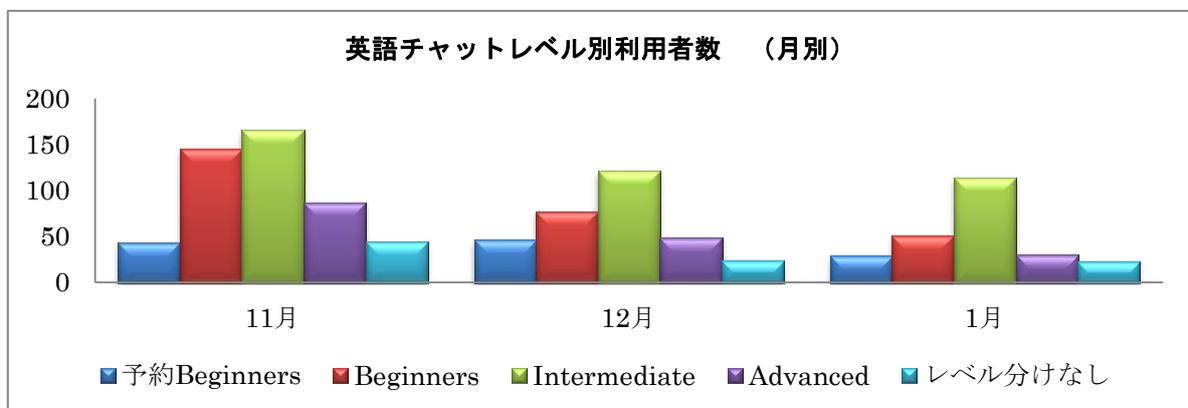
総数（延べ人数）：2,047

※授業期間中の活動：英語チャット 1408、英語学習カウンセリング 75、Study Groups 280、
アカデミック・ライティング・センター 33

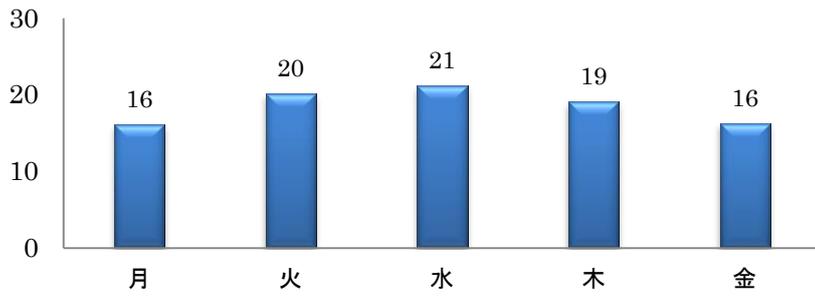
※授業期間後の活動：春休み英語チャット 161
留学準備 Study Group 75
英語学習カウンセリング 15

1. 授業期間中の活動（10月9日（水）～2月3日（火）学期末試験開始前日）

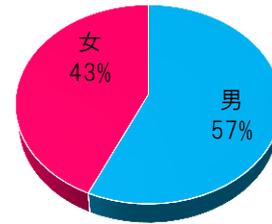
●英語チャット（2階 FL-SALC 内およびその近辺にて実施）



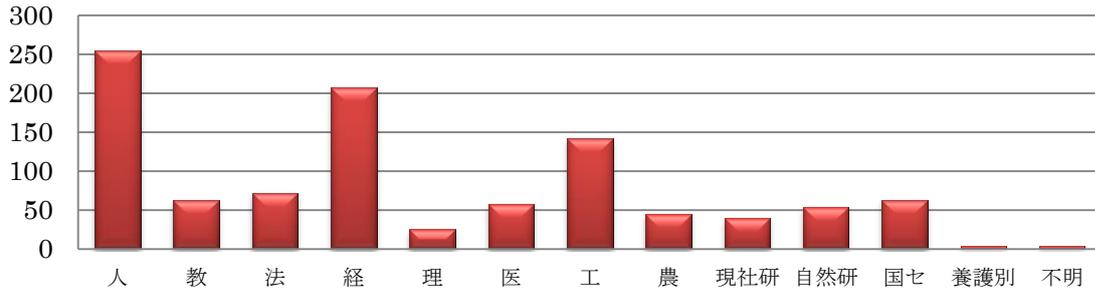
英語チャット1日平均利用者数（曜日別）



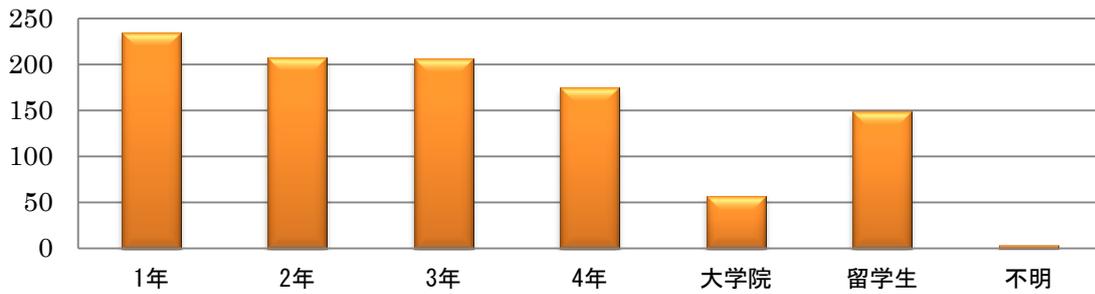
英語チャット（男女別）



英語チャット全体（所属別）



英語チャット全体（学年別）



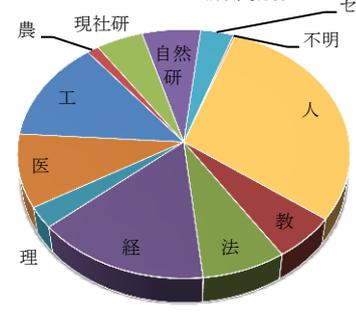
予約 Beginners (所属別)

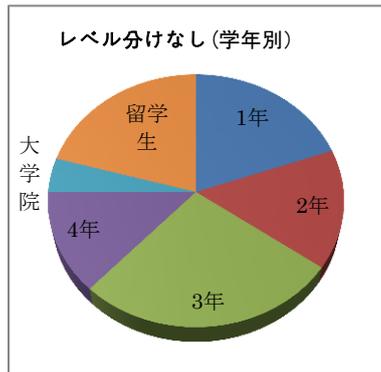
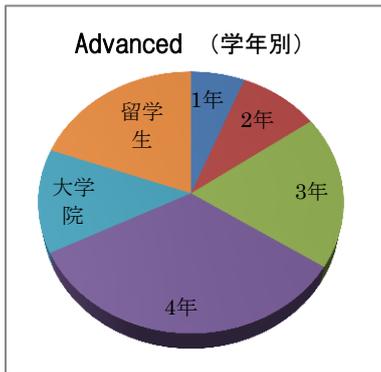
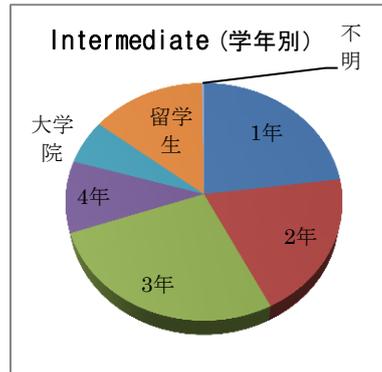
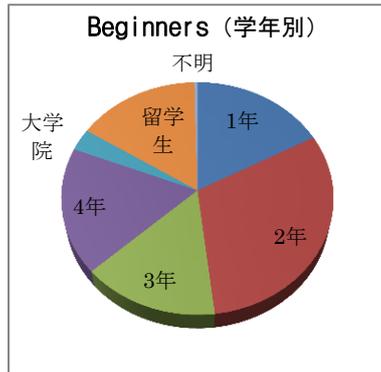
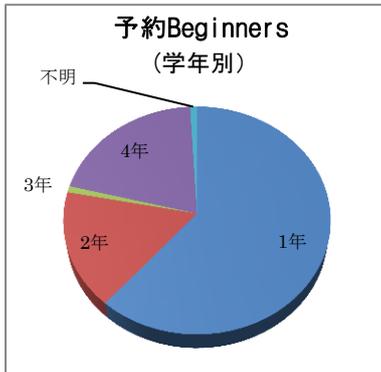
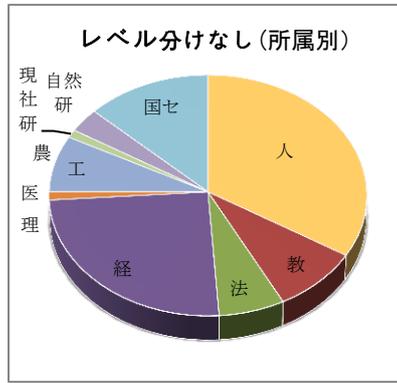
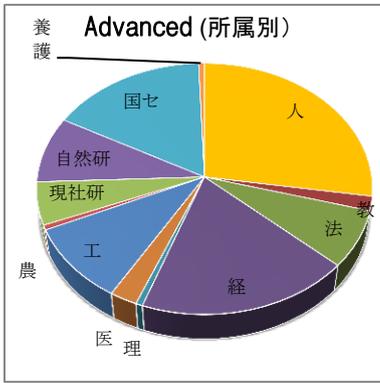


Beginners (所属別)



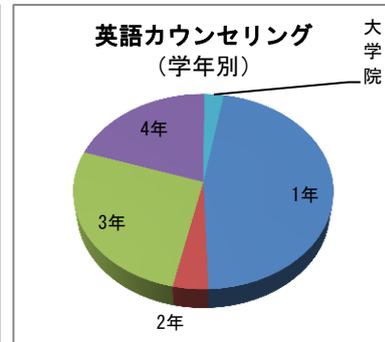
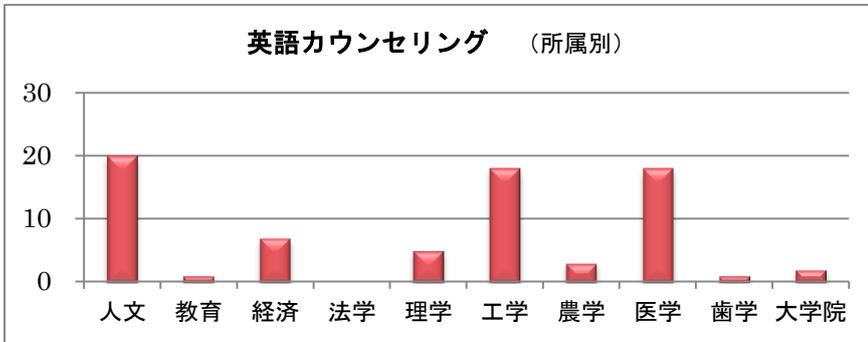
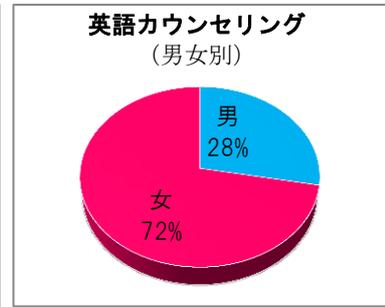
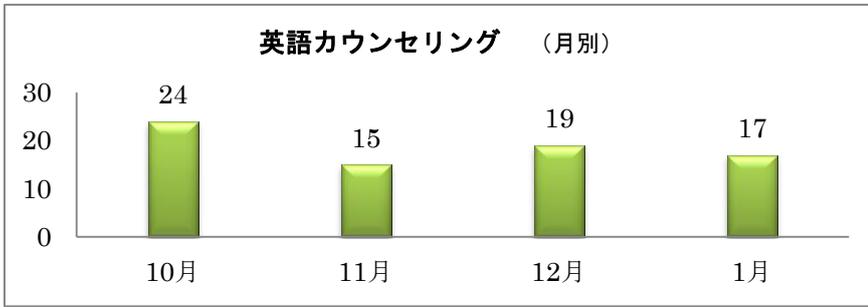
Intermediate (所属別)





- 英語チャットは、英語による異文化コミュニケーションの実践の場として位置づけ、教員やアドバイザーは介入せずにすべて学生同士の自主性に任せている。
- 昼休みのチャットは緩やかな3レベル (Beginners (予約制を含む) , Intermediate, Advanced) に分けて、参加者自身に選択させた。ただし、5限に開催されたチャットはレベル分けしなかった。
- 異文化間コミュニケーションの基礎を理解し、他人にも配慮しつつ積極的に参加できるよう、本学期も利用者向けのマナー&表現集を配付した。
- 様々な文化的背景や価値観を持つ留学生を英語チューターとして12名雇用した。内訳は、オーストラリア3名、ドイツ1名、ミャンマー1名、トルコ1名、イギリス2名、ニュージーランド1名、マレーシア2名、ベトナム1名であった。
- 英語チューター業務のガイドラインを更新し、コミュニケーション能力育成の一貫として参加者からの話題提供を促すよう指示した。

●英語学習カウンセリング (FL-SALC 内および総合教育研究棟 B360 にて実施)



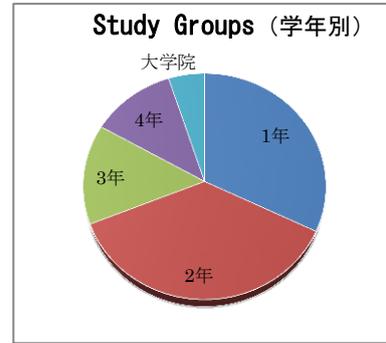
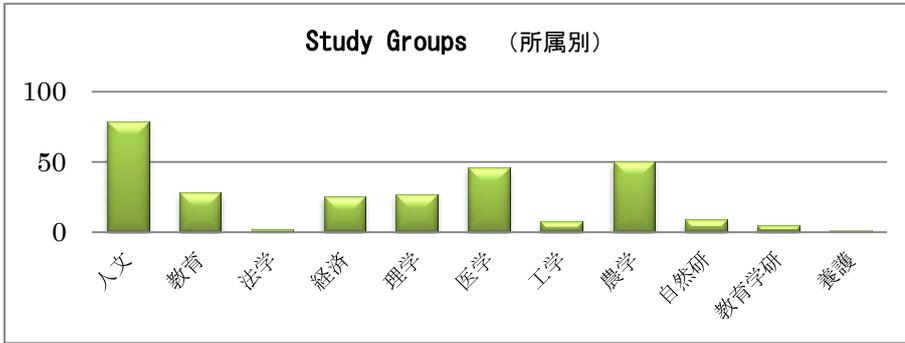
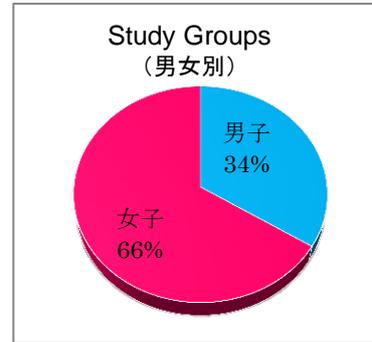
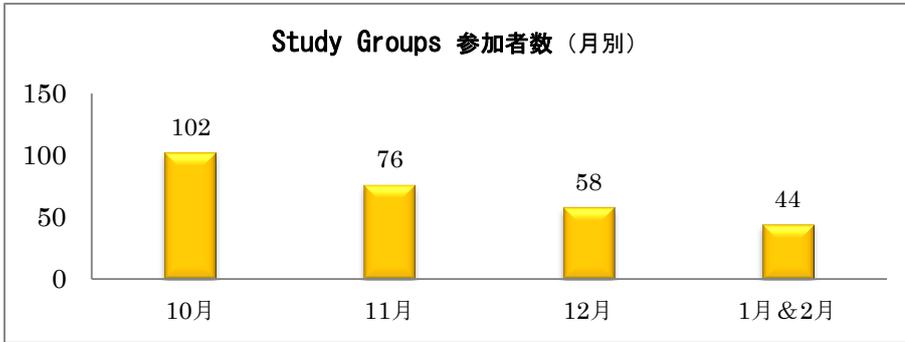
➤ 英語学習カウンセリングでは、利用者が英語の「学び方を学ぶ」ことによって、自律した学習者となることを主な目標としている。引き続き、個別の学習相談シートを作成し、学習目標の設定、教材の選定、学習計画の策定、ふりかえり等をサポートを行った。

➤ 第2学期の主な相談内容

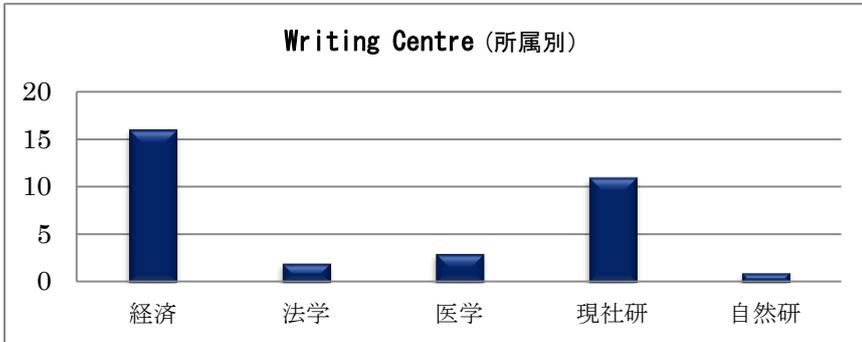
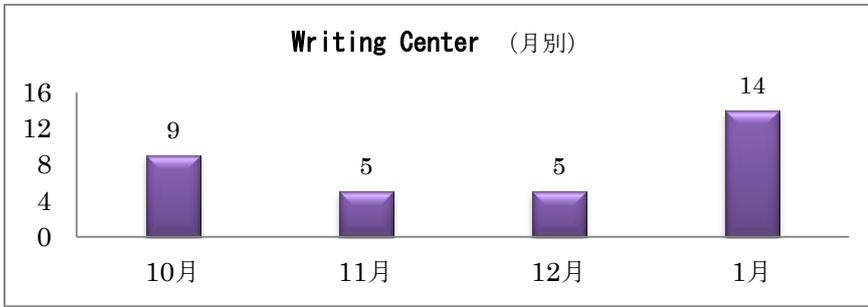
項目	10月	11月	12月	1月	平均
TOEIC 対策	21%	56%	65%	68%	52%
TOEFL/IELTS 対策	24%	17%	22%	16%	19%
その他英語資格に関する質問(英検など)	3%	0%	0%	0%	1%
留学関連:留学先、留学のための学習相談等	18%	17%	9%	11%	13%
スピーキングスキルに関する相談	9%	0%	0%	0%	2%
リスニング/リーディングスキルに関する相談	0%	0%	0%	0%	0%
ライティングスキルに関する相談	3%	0%	0%	0%	1%
目標設定、学習計画、モチベーション維持に関する相談	12%	11%	4%	5%	8%
その他	12%	0%	0%	0%	3%

➤ 今後の課題： 引き続き、英語の苦手な学生の利用をいかに促進するかが課題である。

●登録制および自由参加型 Study Groups (3階グループ学習室にて実施)



- 英語の成績上位者・下位者をターゲットとして Study Groups を開催した。スピーキング関連の Study Groups に参加者が多く集まった。
- 第2学期 Study Groups
 - ・ 月曜 11:50-12:50「英語の文を組み立てる仕組みを考える」(担当: 人文社会・教育科学系准教授秋 孝道、登録制)
 - ・ 火曜 12:00-12:30「新・英語チャットで使える便利な表現」(担当: 教育・学生支援機構准教授 ハドリー浩美、自由参加型)
 - ・ 木曜 12:00-13:45「英文法をもう一度 Part 2」(担当: 人文社会・教育科学系准教授 平野幸彦、登録制)
 - ・ 木曜 15:00-16:00「留学準備 Study Group」(担当: 教育・学生支援機構特任助教 奥村圭子、登録制)
 - ・ 金曜 12:00-12:45「英語で会話ができるようになります」(担当: 教育・学生支援機構特任助教 日下元及、登録制)
- 今後の課題: 本学期も前学期に引き続き基本的に事前登録制として学生の継続的な参加を奨励した。完走した学生も少なくなかったが、後半になると参加人数は減少する傾向にある。
- アカデミック・ライティング・センター (3階グループ学習室にて実施)



毎週木曜 12:15-13:15 にライティングのアドバイジングを実施した。(担当：教育・学生支援機構准教授 ジョージ・オニール)

2. 授業期間後の活動

- 春休み英語チャット (2015年2月16日～3月27日 ※2月25日、26日及び3月9日～13日は休み)
英語チューター：3名
2月参加者合計 79名、3月参加者合計 82

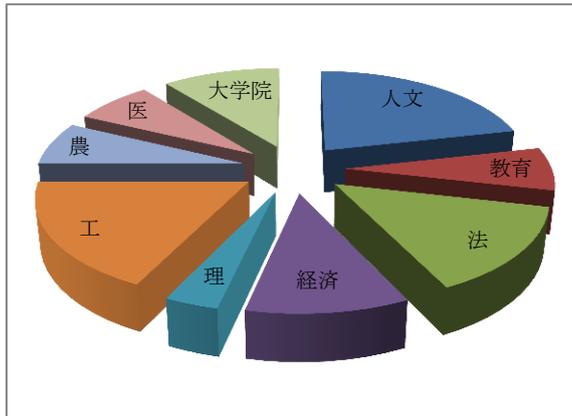
- 英語学習アドバイザーによる留学準備 Study Group
Regular Study Group: 2月16日～2月20日 2限、参加者合計 41名
Presentation Week: 2月23日～2月27日 2限、参加者合計 34名
(2月25日、26日は図書館閉館のため休み)

- 英語学習カウンセリング
2月利用者数 8名
3月利用者数 7名

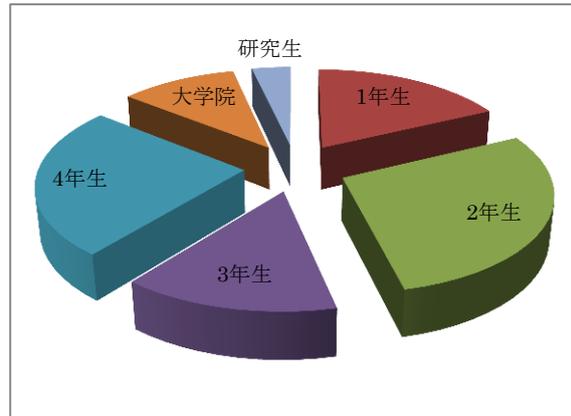
II. 英語チャット参加者へのアンケート調査結果

(2015年1月実施、回答者28名、記述部分は原文のまま)

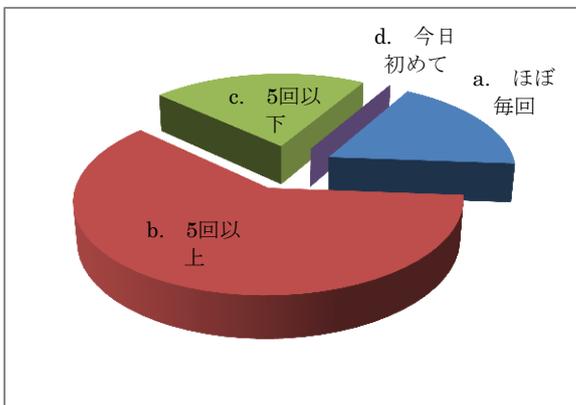
1. 所属



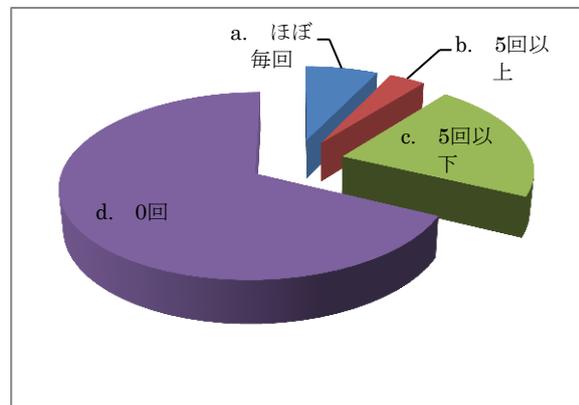
2. 学年



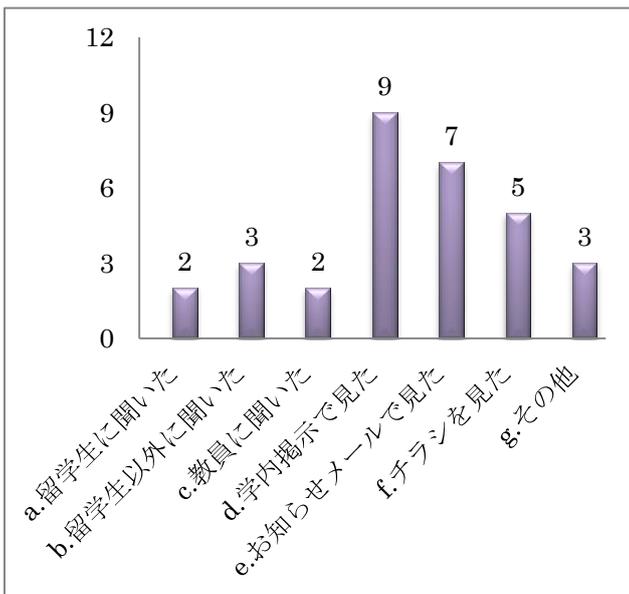
3. 今学期の英語チャット参加回数



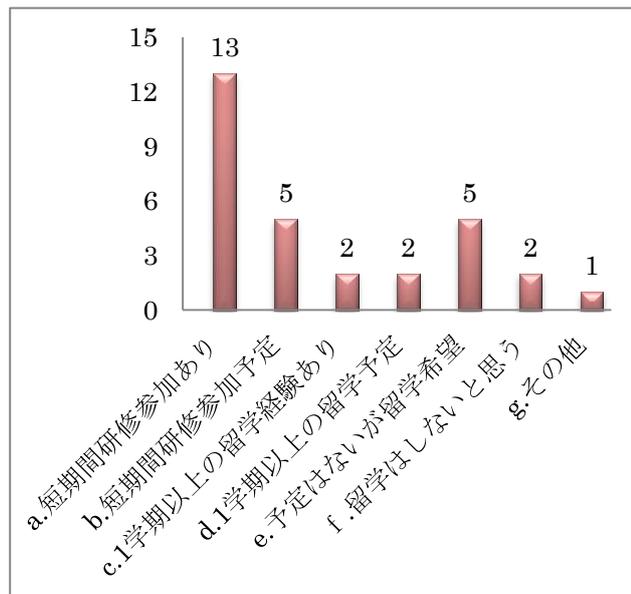
4. 今学期の初修外国語チャット参加回数



5. 英語チャットを何で知りましたか (複数回答可)



6. 留学したことはありますか



7. 英語チャットに参加した動機は何ですか？

<英語力強化>

- ・ 英語がものすごく苦手で克服したいため
- ・ 英語を習得し、使える人になりたいから (2件)
- ・ 英語を話せるようになりたい (8件)
- ・ 英語力を伸ばしたい (3件)
- ・ 英語のスピーキングの練習のため

<英語を話す機会>

- ・ 学んだ英語を実践の場で使いたかったから (2件)

<留学生との交流>

- ・ 研究室にいる留学生ともっと話せるようになりたいから
- ・ 留学生と話してみたかった (3件)
- ・ 留学生と交流を深めたい

<留学準備>

- ・ 留学に備えたいから
- ・ 留学したいと考えているから (3件)

<その他>

- ・ 外国に行きたいと思ったから
- ・ 面白そうだと思い参加した
- ・ タダで活用できるものは使っておきたい
- ・ 英語が好きだから
- ・ 英語に触れあうため

8. 英語チャットは、英語学習の点から具体的にどのように役立ちましたか？

<英語力強化>

- ・ 独学では学べないフレーズ等
- ・ 新しい英語表現を知ることが出来る
- ・ 英語を使う訓練になった
- ・ 実際に使われる文法が良く分かるし、英語を話す技術が上達したと思う
- ・ 会話力を向上させるのに役立った (5件)
- ・ 英語が少し話せるようになった (2件)
- ・ **speaking** の練習や復習 (4件)
- ・ リスニングの練習になった (3件)
- ・ リスニング力、スピーキング力の向上 (2件)
- ・ リスニング、発音、文法、単語など総合的に上達した (特にリスニング)
- ・ 実際に話すことが出来て、発音や会話の勉強になった
- ・ 生きた英語を学べる
- ・ 英語を話す態度や実際の英語の運用の仕方

- ・ 言葉がすぐに出てこないとき、遠回りでも他の言葉を使って表現するようにしたので、使える言葉で最大限表現しようと出来たと思います

<英語を話す機会>

- ・ 実際に英語を会話の中で使うことが出来た
- ・ スピーキングを練習する場が授業ではないので、その為の唯一の練習の場であった
- ・ なかなか英語を話す機会がないため、良い機会であった

<留学生との交流>

- ・ 様々な人と接しながら、英語だけではなく人との接し方や異文化交流も深めることができます

<自律学習>

- ・ 自分から英語を学習する習慣がついた
- ・ 日用単語を調べるクセがついた
- ・ 毎日参加して沢山話そうという英語学習へのモチベーションにつながった

<その他>

- ・ 簡単なことでも英語で伝えようとするのが難しいということに気づけた
- ・ まだ役立たない

9. 英語チャットは、異文化理解の点から具体的にどのように役立ちましたか？

- ・ 文化に関する話はしなかったけど外国の方話せる貴重な機会でした
- ・ 留学生の母国の実際の話が聞けて良かった
- ・ 様々な国のリアルな生活について聞けた
- ・ 留学生が日本についてどう思うか分かった
- ・ 他国の文化を知れる
- ・ さまざまな国と日本との違いが分かった。例えば家族校正とか教育制度とか
- ・ 英会話を通じてチューターの国のことを聞けた
- ・ 会話
- ・ 様々な国からの留学生がいるので新しい知識が増えた
- ・ 日本の文化をどう思っているか聞いたりして自文化と他文化を相対的に考えることが出来る
- ・ さまざまな国の人と話すことで、さまざまな国の面白い話や生活習慣を知れて良かったし外国にもっと行きたくなった
- ・ 様々な国のことを聞ける
- ・ 他国の人の考えについて知ることが出来、とても興味深かった
- ・ 日本とは異なった文化を知ることが出来た
- ・ 多くの国の留学生がおり、その国のことが理解できた
- ・ 英語チャットを通して様々な国の様子を知ることが出来た
- ・ 日本のことを客観的に見ることができた
- ・ 特に食文化の違いが面白いと思った
- ・ 留学生の国の話が聞けた
- ・ 他国の文化や政治・経済など様々な事を学ぶことが出来た
- ・ 毎回チャットで他の文化と自文化の違いに驚かせられました

- ・ 他国の人に自文化を伝える際に自文化をあまり知らないことに直面する
- ・ 色々な国からの人のことを深く理解できるようになりました
- ・ それぞれの国の文化を知るきっかけになった
- ・ 国内の様子が良く分かった
- ・ 車の話になったとき日本とオーストラリアでは免許制度が違うことに気づき文化の違いを知ることができ面白かった
- ・ まず、外国の事情を知ることから自国との違いなど分かってきて何故そういった違いが生じるのか考えさせられて良かったです
- ・ 様々な国の人と話すことが出来た

10. 英語チャットに参加して、困ったことはありましたか？

<英語力>

- ・ 自分の思いが上手く伝えられなかった時 (3件)
- ・ グループのチャットでうまく話に参加できなかった時
- ・ 言葉がうまくでてこない・・・・
- ・ 語彙力が足りない
- ・ 英語が聞き取れない時がたまにある
- ・ もっとしゃべりたいけど聞くだけになった場面が多い
- ・ **native** の学生と話すので聞き取れないことがあり、お互いに話がつまったことがありました
- ・ 時々自分の英語の発音が悪く伝えられないことがあった

<トピック>

- ・ トピックがないこと
- ・ 話題を探すのが難しい
- ・ 自分から話題を提供し広げることが難しかった
- ・ テーマがないとき

<その他>

- ・ まだまだ冷汗が出ます
- ・ 木曜のチャットに参加しているので回によって難易度が違ったがこれは良い点でもあると思う
- ・ 昼休みなので3限があると短くなってしまうこと
- ・ **Intermediate** に人が大勢いて話すのが億劫になることがあった
- ・ **SPACE** という限られた学部生への為に予算を計上し全学部生向けの **English Chat** の長期休暇中のチャットができないのはおかしい
- ・ 特になし

11. 英語チャットをより有意義なものにするために、何かアイデアがあれば教えてください。

<時間・場所>

- ・ 授業の関係で出席できないので、放課後の英語チャットを他の曜日にもやってほしい
- ・ 春休み英語チャットを開催して下さい

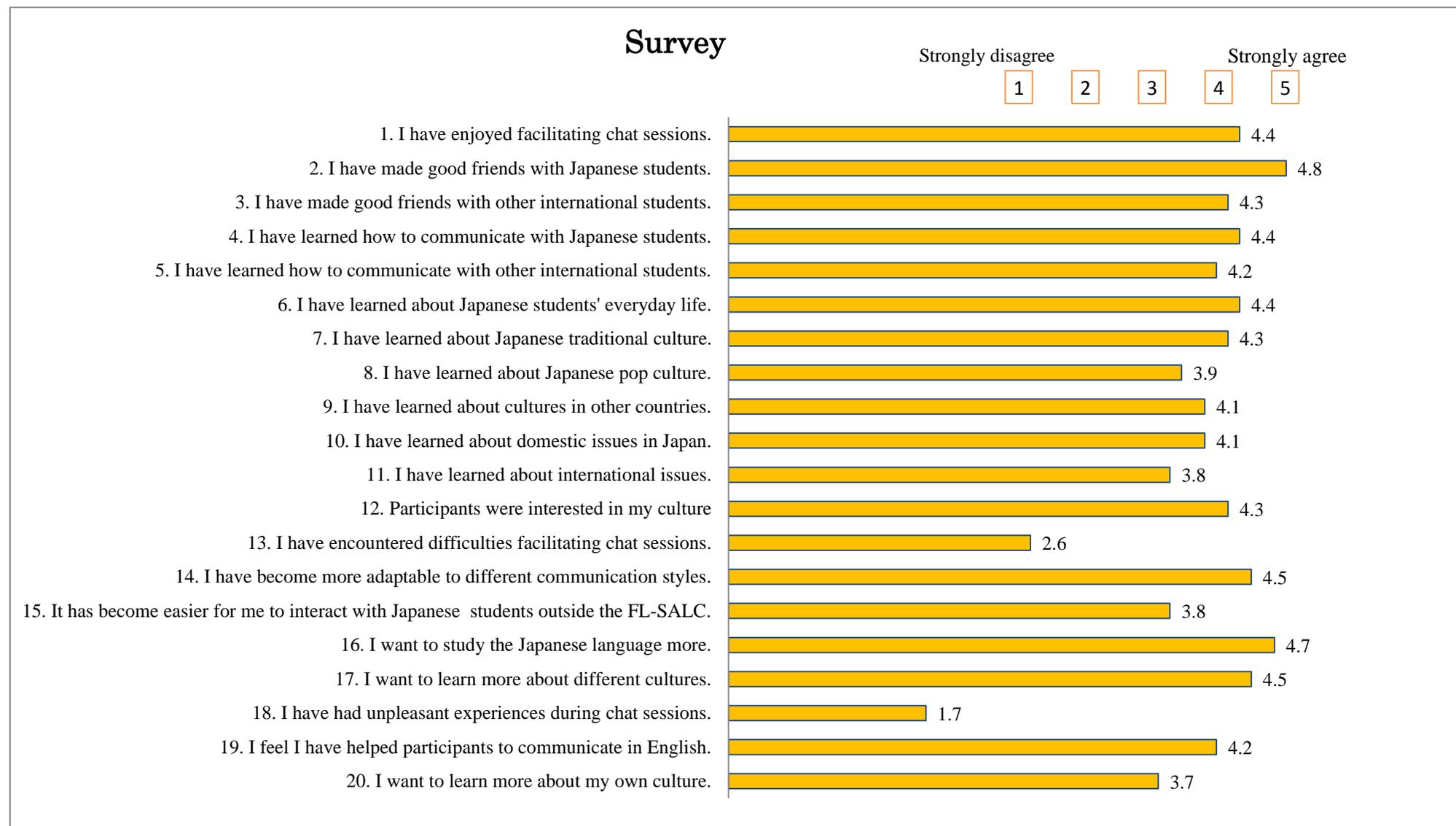
- ・ 学期始めの英語チャット 4月～5月始め、9月～10月始めもチューターの人事面があると思いますが可能である留学生もいると思うので是非やってほしい

<初心者向けチャット>

- ・ ものすごく初心者なので、紙とペンがあればもっと意思疎通がとれたかもしれないです
- ・ 絵で伝える
- ・ アポイント制の1対1のチャットはすごくありがたいです
- ・ <広報>
- ・ 宣伝をもっとすれば沢山の学生が来てくれると思います
- ・ <その他>
- ・ 人数を適度にする
- ・ **Intermediate** と **Advanced** の中間 chat があつたら良いなーと思いました！
- ・ 複数の先生をつける
- ・ **topic** を提供するシートのようなもの
- ・ 会話だけでなく、テーブル同士で食事にいたり 2回に分けて映画（日本語字幕付き）を観たりすることも試してみる価値はあると思いました
- ・ 今で OK

III. 英語チューター（英語チャット担当の留学生）へのアンケート調査結果

(2015年1月実施、12名中全員回答、自由記述部分は原文のまま)



質問（自由記述）：

- (a) What were your reasons for applying for the English Language Tutor position?
- (b) How has the experience as an English Language Tutor helped you?
- (c) What was it that you did not enjoy as an English Language Tutor?
- (d) For the betterment of chat sessions, do you have any suggestions?

英語チューター1

- (a) I wanted to try a job and thought being an English tutor would be easier for me with all my current school work in the semester.
- (b) The experience as an English tutor helped me to learn more about my own English language.
- (c) n/a
- (d) An idea would be to let the tutors know what topic has already been done in the week.

英語チューター2

- (a) I wanted to talk to Japanese and foreign students to understand more about the cultures and make friends.
- (b) I know more about cities in Japan, festivals and cuisines. I could know more people as well.
- (c) n/a
- (d) Need more space for busy days (Mon & Tue).

英語チューター3

- (a) The English Tutor position seemed to be an interesting job where I could interact and make friends with Japanese students.
- (b) I think it has helped me develop my communication skills, particularly with students of non-English speaking backgrounds. It has also helped me develop good friendship with Japanese students and other international students that I have maintained throughout my year of study here.
- (c) There was nothing that I did not enjoy about being an English tutor. It was always enjoyable and rewarding.
- (d) n/a

英語チューター4

- (a) I want to communicate with Japanese students and learn more about Japanese culture.
- (b) This experience helped me to be a good listener and be patient and open-minded. And it also helps me to understand the different culture between the country.
- (c) None
- (d) Reservation system is very good because some student want to speak individually as they are shy. Especially for the beginner, but when they have several chat experience they should also challenge the open class to chat and exchange view with other students.

英語チューター5

- (a) Getting interaction with Japanese students, intercultural exchange
- (b) I probably got better at handling/dealing with a certain type of people.
- (c) Some unfit interaction between the participants during the chat session
- (d) The intermediate chat is ok as it is.

英語チューター6

- (a) Wanted to help Japanese and other international students improve their English, make friends, show people interesting things about my culture and hear about other cultures, encourage people to want to learn English and to go on exchange if they have an opportunity.
- (b) Helped me learn how to best teach English, discover difficult things about learning a language, helped me understand new interesting things about Japanese and international cultures.
- (c) It was a positive experience.
- (d) Nothing in particular, good situation now.

英語チューター7

- (a) Making contact with Japanese students, earning extra income
- (b) I can now adjust my speaking style to suit the language ability of the students. I made contact with Japanese students whom I would not have met if I hadn't done English Chat.
- (c) Sometimes it is hard to think of an interesting
- (d) Keep the one-on-one appointments! They are excellent.

英語チューター8

- (a) I believed that by working as an English Tutor I could gain some working experience. Due to the position being schedule friendly, it reinforced my decision for applying.
- (b) It has helped me see more in depth about how university students in Japan learn English. Also allowed me to understand more about the mindset of students close to my age group and how they differ from students in [my country]. It has been culturally eye opening.
- (c) I can honestly say that I did not have any unpleasant moments while working as a tutor.
- (d) n/a

英語チューター9

- (a) Interacting with Japanese students, I have previous experience in tutoring/mentoring and wanted to continue doing this. I wanted the money!
- (b) I've met many lovely people through English chat. It has also helped me with my own language studies – seeing their progress and dedication motivates me. It also helps me when we discuss how to improve our language skills. I have also become a lot better at thinking of titles on the spot!
- (c) Nothing – it was generally a great experience!

- (d) Having some ideas for topics to rely on – sometimes students are nervous and it is difficult to get them talking. Some students sit on tables that are lower than their English level – some way to monitor this so it is fair for all students would be great.

英語チューター10

- (a) Because I want to improve my English and want to make new friends.
- (b) It makes me more confident.
- (c) Sometimes they expect me to say everything.
- (d) I think we should have syllabus or guideline.

英語チューター11

- (a) Because I'm not that busy this semester so I thought of finding a part time job.
- (b) I have more confident in speaking English.
- (c) Snobbish people
- (d) Everyone has to maintain their politeness and manner despite how fluent they are.

英語チューター12

- (a) To be able to meet Japanese students, and have the chance to learn about Japanese culture from a younger view point, and in a more comfortable setting.
- (b) It has helped me to understand a lot about the culture, especially from the view of those in a similar age group as my own. It has also helped me improve my communication skills, by being able to adapt according to the personality of different people.
- (c) n/a
- (e) Maybe more advertisement of these sessions, it would be great to meet more people.

教育・学生支援機構教育支援センター（英語企画部） ハドリー浩美
学務部教務課（FL-SALC アシスタント） 江部早苗

FL Salc ドイツ語チャット: 2014年度後期活動報告

1. 開催回数と参加者数:

月曜日	チューター2名担当: Philipp Bartels & Daniel Gilessen (マクデブルク大学)	12回	参加人数: 30人
水曜日	チューター3名担当: Felicia Lee Nölle Dennis Kanabey Björn Wehrmann (ボーフム大学)	11回	参加人数: 53人
合計	5名	23回	参加人数: 83

曜日別参加者数:

月曜日

開催日	11月10日	11月17日	11月21日	12月1日	12月8日	12月15日	12月22日	1月14日	1月22日	1月26日	2月2日	2月9日
参加者数	3人	7人	2人	3人	4人	1人	4人	1人	1人	1人	2人	1人

(平均: 3.2人参加)

水曜日:

開催日	11月12日	11月19日	11月26日	12月3日	12月2日	12月10日	12月17日	1月7日	1月14日	1月21日	1月28日	2月4日
参加者数	12人	2人	2人	5人	5人	2人	7人	7人	3人	3人	2人	3人

(平均: 4.8人参加)

2. ドイツ語チャットの活動

前期の参加者の要望に応じて、後期は週2回のチャットがドイツ語レベルをはっきりと区別して開催することにした。月曜日は中級・上級編、水曜日は初級・中級編に設定し、学生にもそういうふうに案内しておいた。チャットの参加者リストを見ると、参加者はこのレベルに沿って参加を決めたようであることは分る。曜日決定に当たって、教員は対象になりそうな受講者を担当の授業で開催前にアンケートで聞いた結果によって決まり、後は専門クラスがだぶらないように曜日設定の際に気を付けた。1月一杯で終るはずだったドイツ語チャットは予算上の余裕によって2月も月・水曜日合わせて3回に開催が延長できて、試験期間にも関わらず参加者が両曜日に少ないが参加があった。次回の開催期間を決めることに当たって、もう少し時間があれば、もっと宣伝もできるから、もっと参加者が集まるのではないかという反省点が残っている。

教員はいない、単位や成績が関係のない気楽な雰囲気ドイツ語である外国語を実際に使える環境作りは重要だと思うから、話すテーマは完全にチューターと参加者に任せ、教材も一切使用しないことになっていて、なるべくフリートークができるような環境作りを重視した。チャットの実際の企画や進め方は

月曜日も水曜日もチューターに任せたことにした。どういうふうに進めたかという把握や情報収集はチャット毎に話した内容やテーマ、使用言語の割合、あればコメント記入できるシートをチューターに記入させて、参加者記入リストも書いてもらい、それにチャット開催直後にはできるかぎりで口頭の報告も受けている。

ドイツ語チャットの宣伝は授業ではともかく、1月になってちょっと遅かったのは反省点だが、A・B棟のモニターにも流すことの方法を使った。

2.1 月曜日開催ドイツ語チャット活動内容:

今年度後期では月曜日チャットが11月～2月にかけて12回に渡って開催を実現し、参加者は全部で38人であった。新潟大学のドイツ長期留学経験のある学生むけのチャットであったから、中級・上級レベルの留学経験のある学生の数は少ないため、参加者が水曜日よりも月曜日の方が少なかったことは理由として述べられる。

月曜日のチャットは中級・上級レベルであるため、あまり日本語が得意でない留学生に担当してもらい、それは参加者がドイツ語を使えるために、大変いいプラクティスできる環境になったと思う。留学生のチューターも参加者の学生もお互いに自分の留学経験やそれぞれの文化背景の違うところに多に話せたようである。

開催ごとに以下のテーマについてチャットを進めた:

- 1回目（11月10日）：参加者の趣味、ドイツでの留学経験（使用言語割合：ドイツ語：95%，日本語4%，その他（英語）：1%）
- 2回目（11月17日）：参加者の趣味、日本の文化、地方の名物、日本での祝日（使用言語割合：ドイツ語：95%，日本語5%）
- 3回目（11月21日）：参加者の趣味、ドイツの文化（使用言語割合：ドイツ語：95%，日本語5%）
- 4回目（12月1日）：80・90年代のドイツの流行した音楽、兵役義務、兵役代替役務、連邦技術支援隊、天然災害の経験、飲む習慣（使用言語割合：ドイツ語：98%，日本語2%）
- 5回目（12月8日）：参加者の自己紹介、先週末の行動、日本での労働状況：残業、休暇を取れない現状について、参加者はそれがどう思っているのか？（使用言語割合：ドイツ語：95%，日本語5%）
- 6回目（12月15日）：皮肉とは何か？日本の選挙結果について、欧州議会とは？ドイツの映画、ドイツの俳優（使用言語割合：ドイツ語：100%）
- 7回目（12月22日）：ドイツ語の略語、クリスマスの習慣、ドイツの伝統料理（使用言語割合：ドイツ語：90%，日本語10%）
- 8回目（1月14日）：新年の抱負や希望、家族メンバーについて、キリスト教（使用言語割合：ドイツ語：85%，日本語15%）
- 9回目（1月22日）：就活、最近のニュース、旅行、食べ物：スナック菓子、

ドイツと日本の食文化の違い（使用言語割合：ドイツ語：99%，日本語1%）
10回目（1月26日）：就活、ドイツ語のことわざ&言い回し、留学経験（使用言語割合：ドイツ語：97%，日本語3%）
11回目（2月2日）：ドイツで有名なマンガ Asterix&Obelix, ことわざ、春休みの過ごし方、Münster市での観光や名所、道案内、方向と場所の言い方（使用言語割合：ドイツ語：95%，日本語5%）
12回目（2月9日）：方言、ドイツでのお笑い（風刺）、ことわざ（使用言語割合：ドイツ語：99%，日本語1%）

2.2 水曜日開催のドイツ語チャット

水曜日のチャットは11月～2月までに11回に渡って開催できた。初級・中級編というレベル設定にして、ドイツへの留学に興味がある参加者やリピーターも多く見られた。初級・中級レベルの参加者むけで、コミュニケーション優先に考え、多少日本語ができる「日本研究」「日本史」を専攻している3人のチューターに担当してもらった。特に目立ったのは1年生の週4回のドイツ語・インテンシブ受講者がわずかだが、リピーターとしてチャットに参加したことであった。また私が担当しているドイツ語・インテンシブ授業での口頭での反応のスピードや仕方などはチャットに参加しない学生と比べて、明白に違っており、チャット参加がドイツ語のオラルスキルの向上に繋がっていることが分る。

開催ごとに以下のテーマについてチャットを進めた：

1回目（11月12日）：自己紹介、出身地、天気、小人の人形（ドイツでよく庭に飾る、チャットのロゴにもなっている）、ドイツの地理
チューターのコメント：大変落ち着いた雰囲気、参加者のドイツ語のレベルには大きな差異が見られ、参加者数も12人で多く、3人のチューター数が適切だと思う（使用言語割合：ドイツ語：50%，日本語40%，その他英語：10%）
2回目（11月19日）：文法、語学学習ゲーム（使用言語割合：ドイツ語：40%，日本語60%）
3回目（11月26日）：ドイツと日本の違い、ドイツの年間行事（クリスマス、イースター）、ケルンとベルリンの観光と名所、北海のワッテン海
チューターのコメント：2名の参加者はドイツ語の初級者であったため、ドイツ語を話すことは苦勞したようだが、話したテーマに多いに味を示し、一所懸命ドイツ語での話しを耳をすました。（使用言語割合：ドイツ語：40%，日本語60%）
4回目（12月3日）：日本とドイツの年間行事：ドイツでのクリスマス、Loriotというドイツの有名なコメディアンを始め、ドイツのお笑い
チューターのコメント：参加者全員はドイツ語使用！（使用言語割合：ドイツ語：55%，日本語45%）
5回目（12月10日）：ドイツのコメディ（使用言語割合：ドイツ語：40%，日本語60%）

6回目（12月17日）：年末年始の休暇予定、ドイツでのサッカーリーグやドイツ国内のサラフィーヤ運動、円安と安倍政権（使用言語割合：ドイツ語：70%，日本語30%）

7回目（1月7日）：休暇をどう過ごしたか、ドイツの州都、ことわざ、フランス語と英語の外来語、ドイツの歴史、オランダ語（使用言語割合：ドイツ語：75%，日本語25%）

8回目（1月14日）：新年の抱負や希望、レディゴードイツ語版、様々なテーマについてのフリートーク（使用言語割合：ドイツ語：85%，日本語15%）

9回目（1月21日）：こどもの物語とメルヘン、日本とドイツの映画、将来のドイツでの留学、ルール地方（使用言語割合：ドイツ語：35%，日本語60%，その他（英語）：5%）

10回目（1月28日）：ドイツ語授業のテスト準備、古語、ひげ、音楽、専攻、将来の予定（使用言語割合：ドイツ語：65%，日本語35%）

11回目（2月4日）：不思議なドイツ語・日本語（Mumpitz、ちゃらい等）、年間行事、ルール地方（使用言語割合：ドイツ語：65%，日本語35%）

3. 教員コメント

前期と引き続きドイツ語チャットを教員無しで進行させ、開催後に必ず報告を受けて、それによって助言やアドバイスしつつ、チューター、参加者と担当教員のなるべくスムーズなコミュニケーションにつとめた。後期はそれらが大変成功していると思う。また、レベル別開催も使用言語割合を見ると大変成功している印象があり、これからもこの形でチャットを進行したいと思う。

ドイツ語レベルが高いほど日本語レベル低いチューターが望ましいと思ったので、2015年度でもチューターしてくれる留学生の数によるが、同じ割り振りで開催すればいいと考えている。上級レベルのドイツ語授業は少ない新潟大学でのドイツ語カリキュラム現状の中、月曜日の中級・上級レベルのほぼ90%のドイツ語使用を見ると、ドイツ語チャットは留学後のドイツ語維持に非常に役に立っていると分る。初級・中級レベルの水曜日のチャットも当然ドイツ語使用割合が低いのだが、徐々にドイツ語使用割合が上がっているため、チャットは初修外国語取得に実に役に立っていることは伺える。それに話しているテーマをみると、ドイツ語チャットは言語だけではなく、チャット参加者・留学生チューター同士で片道ではなく、両方向の交流になっている印象がある。ドイツ語チャットだけではなく、初修外国語チャット全般に言えると思うが、その試みは今現代に求められている多文化間理解（グローバルスキルズ）の向上に結ぶ貴重な学習環境であると思う。可能なかぎりでは2015年度も積極的に新潟大学の特色外国語教育の一環として続くべき試みだと強く願っている。



←Felicia Lee Nölle さんが作ったドイツ語チャットのロゴ
以上

平成26年度 第2学期 初修外国語チャット(フランス語)

○活動内容について

週に1回、4名の留学生を採用して実施した。前の学期までの場合とは異なり、担当教員が教材を準備せず、100パーセント学生の主導で行った。毎回、自己紹介から初め、出てきた話題に応じて自由会話、語彙の学習、学習用ゲームなど、多彩な内容となった。

○初修外国語チューターのフィードバック

チューターを務めたフランス人留学生に、メールで4項目の質問に対して回答を依頼し、3名から返信を得た。ここでは、質問項目ごとに、3人から得られた回答をまとめて記す。

1) 毎回、どのような活動内容を準備したか

- ・フランス語科目で授業アシスタントとしても働いているので、授業で見たテーマを扱うように努めた。参加者が授業で使っている教科書を取り上げたことも3回くらいあった。チャットの時に教科書を持っていない参加者もいたので、毎回できるわけではなかった。

- ・普通の会話のように、最初に出た話題から、あちこちにテーマを広げていった。

- ・最初の頃は、フランス全般について取り上げるようにした。そのうち、参加者から宿題を手伝ってと頼まれるようになった。時には単におしゃべりを楽しむ時もあった。

2) どのように参加者を分担したか

特に決まった分担方法は決めず、同じテーブルに座った参加者と会話を行った。グループ間で不公平がでないようにした。

3) 問題はあったか

次の学期は、レベルによって参加者を分担する必要があるだろうと思う。

4) 補助教材やサポートは必要だったか

○実施状況と参加人数

フランス語 11月 12月 1月		
月日	曜日	参加人数
11月5日	水曜	10
11月12日	水曜	13
11月20日	木曜	8
11月26日	水曜	7
11月合計		38
12月3日	水曜	10
12月10日	水曜	12
12月17日	水曜	16
12月合計		38
1月7日	水曜	3
1月21日	水曜	12
1月28日	水曜	12
1月合計		27
2月4日	水曜	6
2月11日	水曜	8
2月16日	月曜	4
2月18日	水曜	4
2月合計		22
H26 第2学期合計		125

- ・新しい語彙を学ぶことができるゲームがあるといい。
- ・グループ分けのときに助けてもらえるといい。
- ・活動内容、カードゲームや話題を準備するのは、チューターの仕事だと思う。

○次の学期に向けて

次の学期も、ほぼ同じ留学生がチューターを務める予定であることから、フィードバックで指摘された点を改善しなければならない。

まず、チューターが自由に使える補助教材を、FL-SALC の書棚に備えるつもりである。語彙学習用のゲームや、授業で使っている教科書など、フィードバックの中で挙げたものを中心に準備する。

さらに、入門と中級の2レベルを設定してグループ分けを行う。フランス語学習を始めたばかりの参加者を入門レベル、それ以外を中級レベルとしたい。

(駒形千夏)

平成26年度 第2学期 初修外国語チャット(ロシア語)

○活動内容について

2014年度第2学期のロシア語チャットは毎週1回、金曜日の昼休み(11:50-12:50)新潟大学附属図書館内のFL-SALCにて11月から翌年1月までの3ヶ月間、計9回開催した。人文学部の交流協定校である北東連邦大学からの留学生2名がチューターとなり、人文学部生を中心に毎回行われた。当初は1年生から4年生まで全員一緒にチャットを行っていたが、ロシア語運用能力のレベルが違う学生間に戸惑いがあった。特に1年生にはハードルが高かったのか、開講当初は7名いた参加者も12月に入ると減り、その後は3名前後で推移した。

参加学生の希望に応じて、毎回興味のあるテーマで会話をした。テーマに沿った基本文型を留学生が説明し、その応用を次々と展開するというやり方で、2年生以上の参加者には無理なくこなせる実用的な内容だった。このチャットをきっかけにロシアへの留学を希望する学生のモチベーションがかなり高まったことは確かである。

北東連邦大学はロシアのサハ共和国の首都ヤクーツクにあり、留学生のキュンネーエ・ジャーチコフスカヤ(サハ人)とタマーラ・ソロヴェワ(ロシア人)からそれぞれサハやロシアの文化に関するさまざまな紹介が毎回行われ。ロシア文化関係の授業では聞くことのできない、多くのことを学生が学べたことはたいへん意義深かった。

今回は初めてのロシア語チャットということもあり、試行錯誤で行わざるをえなかった。次年度以降の課題としては、全くの初学者である1年生と基礎文法を修了している上級生の2グループに分けて行うか、あるいは基本的な会話をベースにして全員で行い、その後で参加学生のレベルに合わせて各自に応用会話を課すような内容にする必要がある。いずれにせよ、参加した学生の顔ぶれを見て、今後の展開を考えていきたい。

(鈴木正美)

○実施状況と参加人数

ロシア語 11月 12月 1月		
月日	曜日	参加人数
11月7日	金曜	7
11月14日	金曜	6
11月21日	金曜	4
11月合計		17
12月5日	金曜	2
12月12日	金曜	4
12月19日	金曜	3
12月合計		9
1月9日	金曜	2
1月23日	金曜	2
1月30日	金曜	2
1月合計		6
H26 第2学期合計		32

平成26年度 第2学期 初修外国語チャット(中国語)

○活動内容について

～チャットに参加した日本人学生による感想～

今学期の中国語チャットに私は何度か参加し、様々なトピックを通じて中国語や中国に対する理解が深まりました。

初回は中国語で自己紹介を行い、名前や所属のほか、好きな食べ物を発表しました。その後、毎回、参加する学生のレベルに合わせてトピックが設定され、前の週に次回的话题を提示し、準備させておく、ということもありました。ある時には「最近面白かったこと」、「恥ずかしかったこと」といったテーマを与えられ、中国語による表現が難しいときには、1年間の留学経験のある日本人学生の先輩も手伝ってくれました。また、日本人学生が故郷の風習を中国語で留学生に紹介するという場にもなり留学生も興味深く聞いていたように思います。

チューターの方はとても熱心に接してくださり、2、3度参加すると名前を覚えてくれました。留学生仲間を呼んでくださり、中国語でゲーム（ピンインを使ったしとり等）をしたりしました。また、学習室の入り口に「中国語チャット開催中」という紙が張ってあるのをみて「飛び入り」で参加する中国人の留学生もいました。

全くのゼロビギナーの学生も当初は参加していましたが、次第に話す内容が豊富になってくるにつれ、見かけなくなりました。そのため、中国語が少しは出来ないとしんどいという面もあるようです。

その他のトピックとしては、日本と中国、さらには台湾の正月の違いも話題となりました。台湾からの留学生が台湾の春節の祝い方について紹介し、大陸からの留学生も楽しく聞いて、白熱した中国人同士の「議論」に触れることが出来ました。

新潟や日本に関する話題としては、天気が悪くて大変だといったものから、参加している日本人学生の故郷の観光地の紹介まで様々ありました。留学生からは、日本の映画やドラマ・アニメなど、最近の中国ではこういうのが流行っているというのを、教えてもらい勉強になりました。日本人学生が知らない日本のドラマを知っていて驚いたり、また、日本のドラマ等、我々と同じものを見て、中国人の彼らも同じく面白いと感じたりするという事実が、とても大きな発見でした。

留学生との交流で、特に興味深かったのは、中国での実際の暮らしぶりを紹介してもらったことです。大学の講義や書籍で学んだ知識と、実際の中国人留学生が体験してきた、言わば「等身大」の中国の生活を照らし合わせて、たいへん有意義な経験ができました。

(法学部3年)

○実施状況と参加人数

中国語 11月 12月 1月		
月日	曜日	参加人数
11月7日	金曜	6
11月13日	木曜	5
11月14日	金曜	10
11月20日	木曜	2
11月27日	木曜	2
11月28日	金曜	4
11月合計		29
12月4日	木曜	5
12月5日	金曜	10
12月11日	木曜	7
12月12日	金曜	9
12月18日	木曜	5
12月19日	金曜	4
12月合計		40
1月8日	木曜	7
1月9日	金曜	3
1月15日	金曜	5
1月23日	金曜	5
1月合計		20
H26 第2学期合計		89